



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和 8 年度地域でつながる家庭教育応援事業 福島県家庭教育応援企業「活動報告」

医療法人社団茶畑会相馬中央病院からの報告「大人インタビュー」

開催日……………令和8年 10月8日（木）10：00～11：00
会場……………相馬中央病院・会議室
参加人数…………職員4名、相馬総合高等学校の1年生6名 計10名
学習の内容…………身近な大人（病院で働く人）の仕事を知ってもらい、自身の
生き方や将来を考えていく学びの機会を提供する。



看護部長、事務長を含む4名の職員が参加し、高校生からのインタビューにお答えしました。生徒の皆さんからは、医療や病院の役割についての質問はもちろん、東日本大震災当時の取り組みや仕事のやりがいなど、多岐にわたるテーマについて熱心な質問が寄せられました。当日のやり取りを一部ご紹介いたします。

【東日本大震災や防災について】（回答：臨床工学技士・総務課）

Q. 地震や津波など起きたとき、どのような対応をしていますか？

A. 地震の揺れがおさまったら、まずは患者さんの様子を確認します。
医療機器の点検と併せて医師へ治療継続の確認を行い、患者さんが安全に帰宅できるかの確認も徹底しています。

Q. 震災のときは、どのような被害がありましたか？

A. 暖房が使えなくなったため湯たんぽで温めたり、断水時には市の給水車にご協力いただいたりと、限られた状況の中で対応にあたりました。

Q. 震災の前と後で変わったことはありますか？

A. 自然災害に対する意識が大きく変わり、その後のさまざまな自然災害に対して、日頃から十分な備えができるようになりました。

【医療や働くことについて】（回答：看護師・臨床工学技士）

Q. 技術が進んでも“人間にしかできない医療現場で一番大切なこと”は、何だと思いますか？

A. 医療は「人対人」です。患者さんの顔色を伺ったり、痛みに共感したりすること、そして針を刺すような手技は、AIにはできない大切な人間の役割だと考えています。

Q. 医療現場での「やりがい」は、何ですか？

A. 来院される患者さんは、身体の痛みだけでなく心の痛みを抱えていることもあります。そうした方々が前を向いて進めるように手を差し伸べ、回復に向けてサポートできることこそが、私たちの大きなやりがいです。

Q. 外来と各部署の対応について

A. 外来は、入院を必要としない通院治療の場です。患者さんの状態に合わせて内科（一般内科や循環器科など）や整形外科など、適切な診療科で対応しています。

【病院からの感想】生徒の皆さんから「病院は少し怖いところだと思っていたけれど、患者さんとのコミュニケーションや人と人との関わりの大切さを知ることができた」「災害時にすぐ患者さんのもとへ向かう話を聞き、病院は安心できる場所だと感じた」「震災の話や医療への思いなど、たくさんの貴重な話を聞くことができて良かった」といった温かい感想をいただきました。真剣な眼差しでメモを取りながら話を聞く姿は印象的で、仕事の原点や地域との結びつきを見つめ直す貴重な時間となりました。

未来を担う高校生たちが、医療や地域の歴史、そして「働くこと」の尊さに深く向き合う、かけがえないのない体験となりました。受入れにご尽力いただき、温かい学びの場をつくってくださった相馬中央病院の皆様に、深く御礼申し上げます。これからも地域の方々と手を取り合いながら、子どもたちの学びを全力で支えて参ります。

